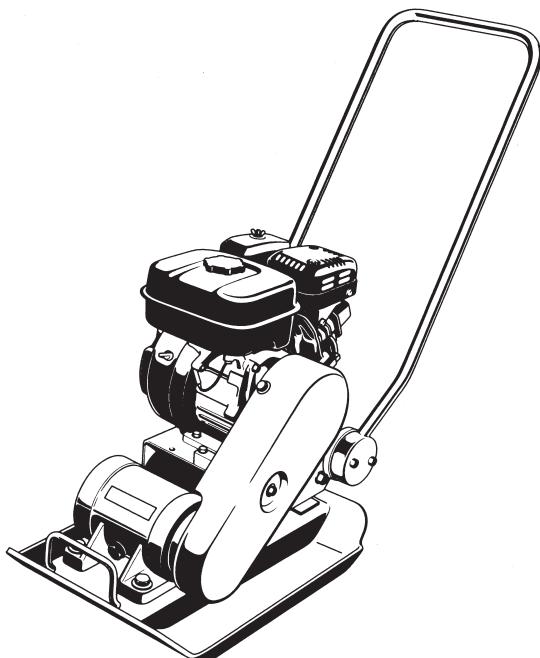


Makita エンジンプレート

モデル EP71

取扱説明書



このたびは、マキタエンジンプレートを
お買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の機能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

まえがき

この取扱説明書は、マキタエンジンプレートをご使用頂くためのガイドブックです。初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも知識や経験を再認識する上で実際に役立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用くださいますようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切に保管しておいてください。なお、エンジンの取扱い・保守については別冊の「エンジン取扱説明書」をご参照ください。本機を他人に貸したり、使わせる場合は、取扱い方法をよく説明し、また、あらかじめこの「取扱説明書」を読むように指導してください。本機を譲渡する場合には、この「取扱説明書」および「エンジン取扱説明書」を譲渡してください。エンジンプレートの設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、当社営業所へお問い合わせください。

目 次

目 次

安全に関するご注意	1
1. 基本的注意事項	3
2. 警告表示（ラベル）	5
3. 各部の名称	7
4. 始業点検	9
5. 始動	11
6. 運転	14
7. 停止	16
8. 点検・整備	17
9. 燃料・オイル	20
10. 運搬の方法	20
11. 長期保存の仕方	21
12. 定期点検表	22
13. 故障診断	23
14. 特別付属品(別販売)	24
15. 全体図	25
16. 仕様	26

安全に関するご注意

本機をご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで運転操作ならびに保守作業を行わないでください。

この取扱説明書に示されている操作および安全に関する注意事項は、エンジンプレートとしての使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考えください。

この取扱説明書では、もしお守り頂かないと人身事故につながる恐れのある注意事項は、「▲危険」または「▲警告」という見出しで表示してあります。なおまた、もしお守り頂かないとけがの発生または機械の重大な破損につながる恐れのある注意事項は、「▲注意」という見出しで表示してあります。特に、もしお守り頂かないと機械の破損・故障または寿命を短くする恐れのある注意事項を「重要」という見出しで表示してあります。

また、機械を安全に操作、保守整備作業する上での注意事項を、機械に次の見出しつけてラベル表示しています。

▲危険 注意を守らないと重大なけがや死亡につながる危険性が極めて高いことを示します。(このマークは赤色で表示)

▲警告 注意を守らないと重大なけがや死亡につながる可能性があることを示します。(このマークはオレンジ色で表示)

▲注意 注意を守らないとけがの発生または機械の破損・故障につながる恐れのあることを示します。(このマークは黄色で表示)

〔重要〕 注意を守らないと機械の破損・故障につながる恐れのあることを示します。

安全に関するご注意

この取扱説明書および機体の表示ラベルの記載内容が、すべての危険について予知し、説明しえませんので作業にあたっては、取扱説明書および機体の表示ラベルの記載事項以外についても細心の注意を払って事故が起こらないように留意してください。



警 告

取扱説明書を熟読し理解するまでは機械を運転してはならない
誤った運転をするのがや死亡事故につながる恐れがある
安全に運転することは使用者の責任である

☆本機を改造される場合の注意

当社にリコメンドのない改造は、安全上問題があります。

改造する場合には、事前に最寄りの当社営業所にご相談ください。許可のない改造に起因する人身事故や故障などについては責任を負いかねます。

☆本機を取り扱うに際して、安全に係る基本的な注意事項を次ページから説明してあります。



警 告

安全のために、必ず注意事項を守ってください。
注意事項を守らないと故障や事故に結びつきます。

1. 基本的注意事項

■取扱説明書を熟読する

- 運転操作装置の機能を理解し、その位置、操作方法を熟知してください。
また、操作方法や記号の意味を正しく理解してください。



■作業現場の規則(ルール)を遵守する

- 作業現場内の禁止・注意事項、作業手順など定められた規則を守ってください。

■作業に適した服装・保護具を着用する

- 作業に適した服装、安全靴、安全帽を着用してください。
- 機械の突起部に引っ掛かる可能性のある服装、装飾品などを着用しないこと。また、油の付着した作業着は、引火しやすいので着用しないこと。
- 作業によっては、保護メガネ、マスクなども忘れずに着用してください。



■高温時の取扱いに注意する

- 運転中および停止直後は、エンジン全体が熱くなっていますのでやけどをしないよう注意してください。
- エンジン稼働中および稼働直後のマフラーは高温になっていますので、手・身体・衣服などが触れないようにしてください。
- エンジンが熱いときは、オイルの抜き出しの際に飛沫でやけどしないよう注意してください。



1. 基本的注意事項

■火気に注意する

- 燃料、オイルなどに火気を近づけると、引火する恐れがあります。
特に、燃料は非常に燃えやすく危険です。



- タバコやマッチなどの火気を可燃物に近づけないでください。
- 燃料の補給は、エンジンを止め、火気が近くにないことを確認してから行ってください。
- 燃料やオイルのすべてのキャップは、確実に締めてください。



■換気に注意する

- エンジンの排気ガスは人体に有害です。
室内など換気の悪い所でエンジンを始動する場合には、窓や入口を開け、十分な換気をしてください。



■作業(運転)前に機体の確認を行う

- 安全な場所で各部の作動が正常であることを確認してください。異常が認められた場合には、必ず適切な処置をしてから運転を開始してください。
- 異常音、不自然な振動、熱、臭いを点検し、異常を発見したらすぐに安全な所に止め、原因を調べて修理してください。

■巻き込まれに注意する

- 運転中は回転部分に手・身体・衣服などが巻き込まれてけがをする恐れがありますので、近づかないでください。
Vベルト・PTO プーリなどの回転部分およびその付近の点検・整備は必ずエンジンを止めてから行ってください。
- 回転部分のカバー類は、絶対に取り外して使用しないでください。

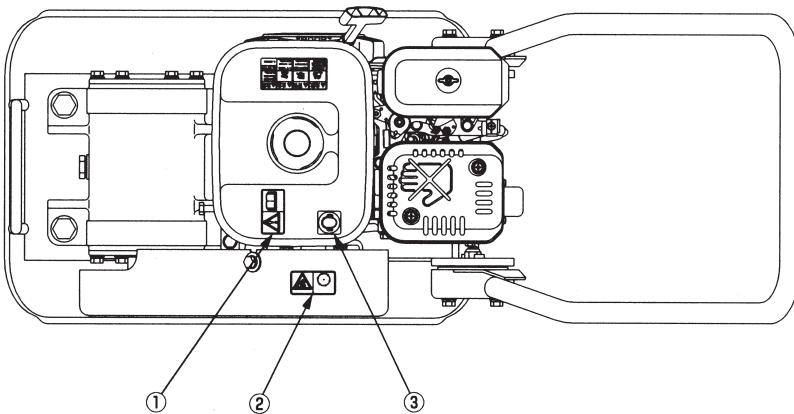


■積込み、積降ろし時の注意

- 運搬車両への積込み、積降ろしは、本機を落とさないように二人で行ってください。
- 長距離や悪路を運搬する場合は、燃料タンク、気化器、燃料ストレーナの燃料を抜いてから運搬してください。

2. 警告表示（ラベル）の貼付位置

安全にご使用頂くために、製品には下図の位置に警告表示（ラベル）を貼り付けています。
警告表示（ラベル）は、常に汚れや破損のないように保ち、万一破損・紛失した場合は、新品に
貼り直してください。ラベルを注文するときは、ラベル右下の部品番号をお知らせください。



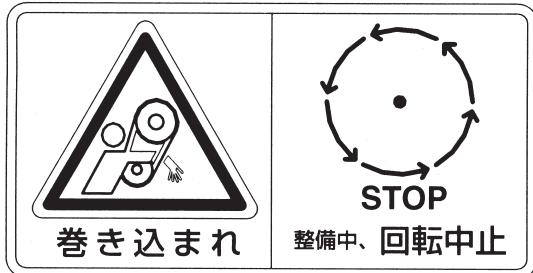
2. 警告表示（ラベル）

警告表示（ラベル）の詳細

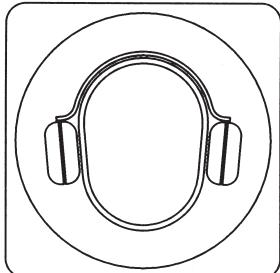
①



②

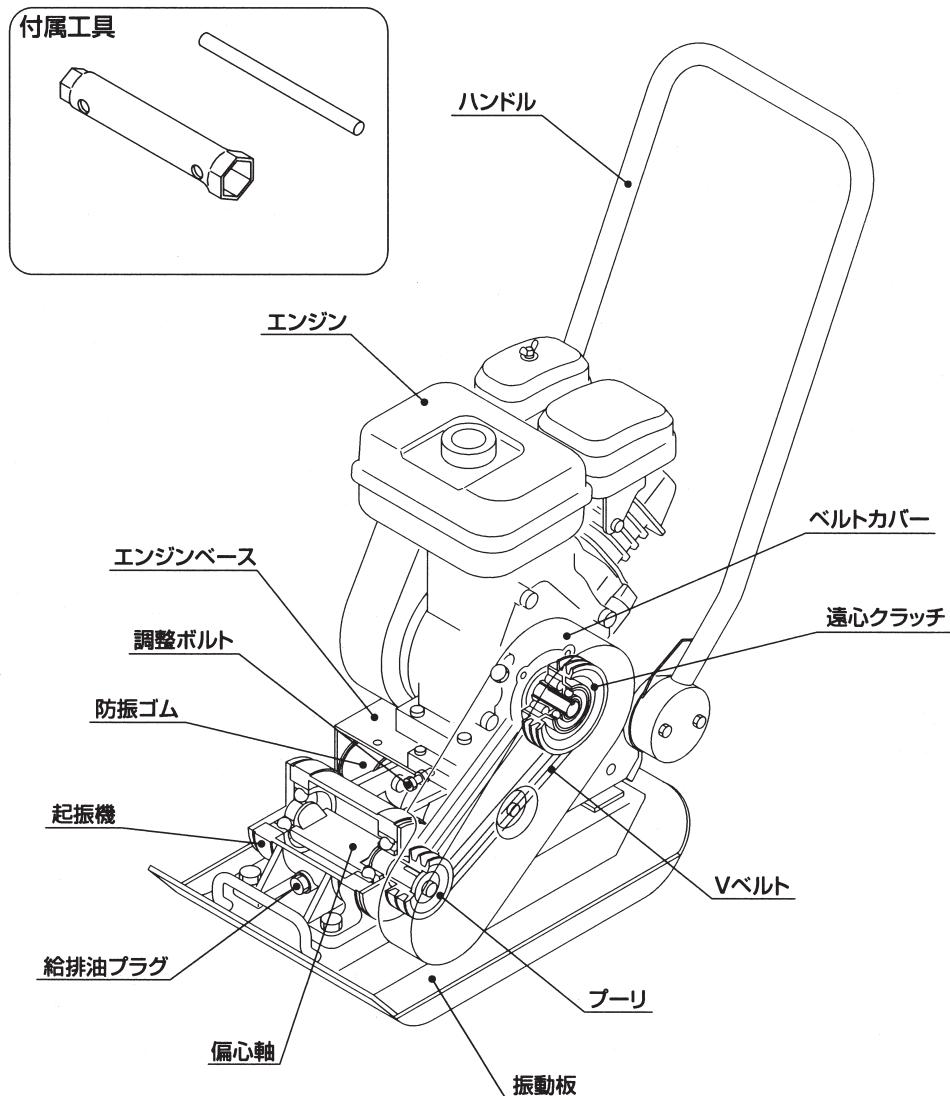


③



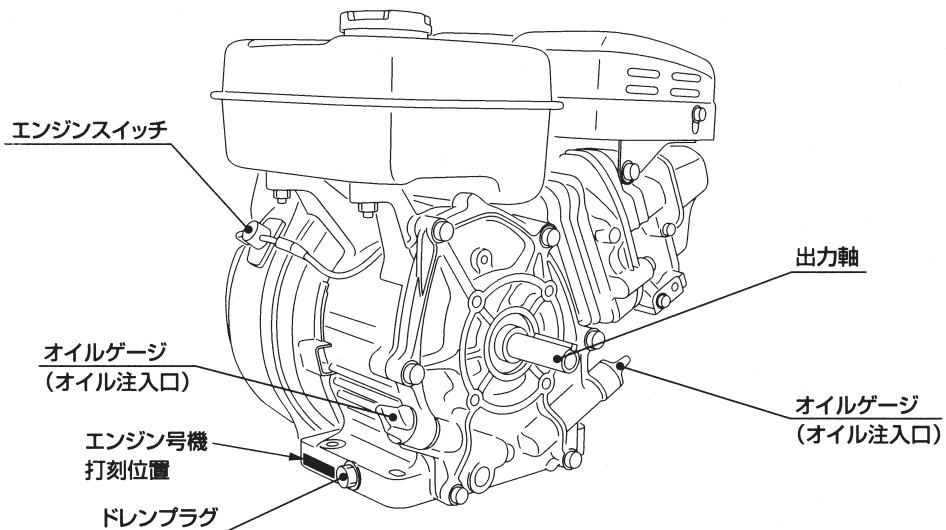
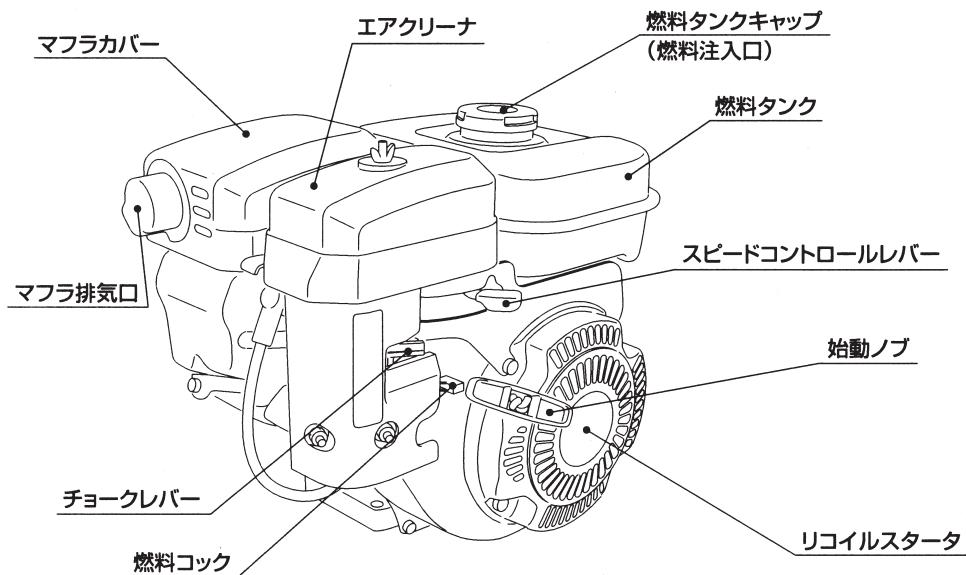
3. 各部の名称

3.1. エンジンプレート



3. 各部の名称

3.2. エンジン



4. 始業点検

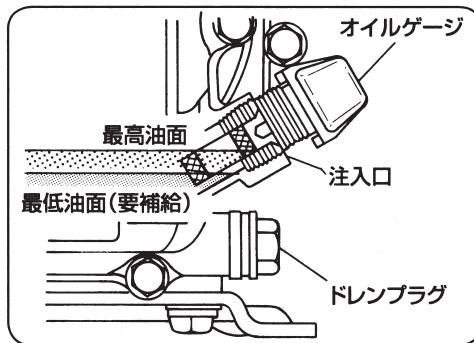
4.1. エンジン

エンジンについては別冊の「エンジン取扱説明書」をお読みください。

(エンジン回転数セット : $3,800 \pm 100 \text{min}^{-1}$)

4.2. エンジンオイルの確認

- ① オイルゲージを一度外し、ウエスでオイルゲージに付着しているオイルを拭き取ります。
- ② オイルゲージを注入口にねじ込まずにいっぱいに押し込んで、油面の高さを調べます。
- ③ 不足しているときは、オイルゲージの上限目盛までエンジンオイルを補給してください。



[重要]

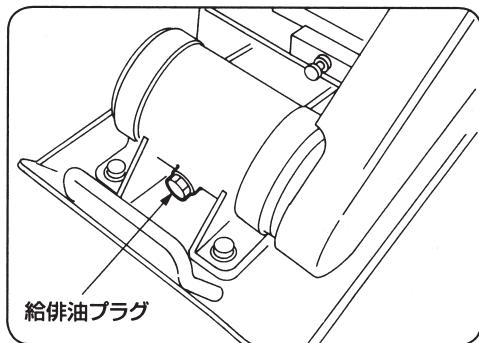
- 給油、油量点検後は、オイルゲージを確実にねじ込んでください。
- 給油および油量点検は、必ずエンジンが水平になる状態で行ってください。
給油の約3分後に再度油量点検をしてください。
- オイルの入れすぎは、オイルの吹き出し、エンジンの出力不足となりますので、規定量以上入れないでください。
- オイルが少ないと、エンジンが焼き付くことがあります。
- 指定以外のオイルを使用すると、エンジンの寿命を縮める恐れがあります。

4. 始業点検

4.3. 起振体オイルの確認

機体を水平にして、起振体の給排油プラグを外し、オイルが口元までいっぱい入っているか確認してください。

不足しているときは、給排油口の口元いっぱいまでエンジンオイルを補給してください。



[重要]

- 本機を長時間左右に倒すと、起振体の通気穴よりオイルが流出します。
修理中など必要な場合以外は、通気穴をふさがないでください。

4.4. 燃料の確認

⚠ 警告

- 使用燃料の種類に間違いがないか、補給前に必ず確認してください。
- 火災を防止するため、燃料をこぼしたときは、きれいに拭きとってください。
- 燃料補給時は、必ずエンジンを止めてください。
- 燃料補給後は、タンクキャップを確実に締めてください。

[重要]

- 燃料補給時は、燃料詰まりを防止するため、必ずフィルタを通して補給してください。

燃料タンクのキャップを外し、目視で燃料の残量を確認してください。不足している場合は、補給してください。

使用燃料：自動車用レギュラーガソリン

燃料タンク容量：3.6 ℥

4.5. 各部のボルトやナットのゆるみを確認

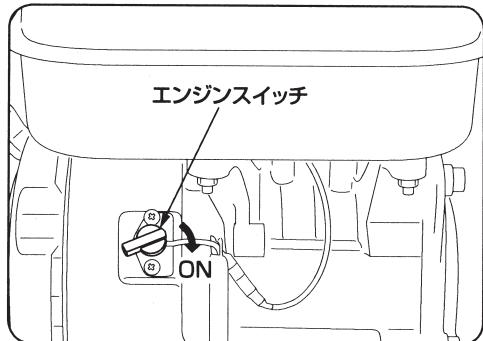
機体の振動によりボルトやナットがゆるみ、ゆるんだ状態で使用すると機能が低下したり、破損の原因となります。機体を点検し、ゆるんでいるボルトやナットを締めしてください。

5. 始動

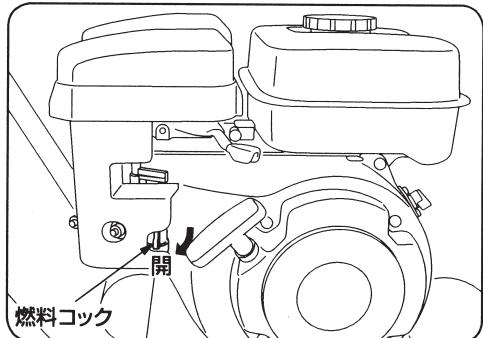
⚠ 警告

- エンジンを始動する時は、周囲の安全を確認してください。
- エンジンを始動する時は、機体が動き出さないよう左手でハンドルをしっかりと握り、右手で始動ノブを引っ張ってください。
- 始動ノブを引く時は、ハンドルに手が当たらないようハンドルの直後から引っ張ってください。

(1) エンジンスイッチを「ON」の位置にします。

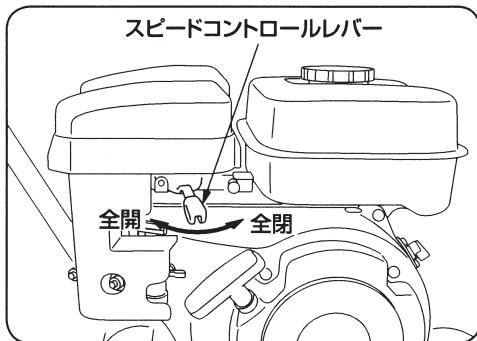


(2) 燃料コックを「開」の位置にします。



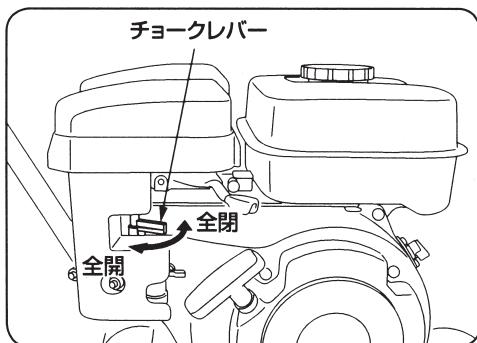
5. 始動

- (3) スピードコントロールレバーを「半開」にします。



- (4) キャブレターのチョークレバーを閉じてください。

(気候が暖かいとき、エンジンが暖まっているときは、「半開」にしてください。)



- (5) 始動ノブを勢いよく引いてください。



[重要]

- ロープは最後までいっぱいに引ききらないでください。
また、戻すときにそのまま手を放すと、衝撃でカバーなどが破損しますので静かに戻してください。

(6) エンジン始動後、チョークレバーを「全開」にしてください。

[重要]

- エンジン始動後、1～3分くらい低速で暖気運転をしてください。
- エンジンが始動しないときは、点火プラグおよび燃料系統の詰まりを点検してください。

6. 運転

⚠ 注意

- 本機を傾斜地で使用する場合は、1/4 勾配（約 14°）の範囲内でご使用ください。範囲を超えると本機が滑り落ちて危険です。
- 大きな凹凸や、段差のある場所で作業する場合は、機体の転倒や滑りで手首を傷めないよう注意してください。

(1) 暖気運転後、スピードコントロールレバーを「全開」にします。

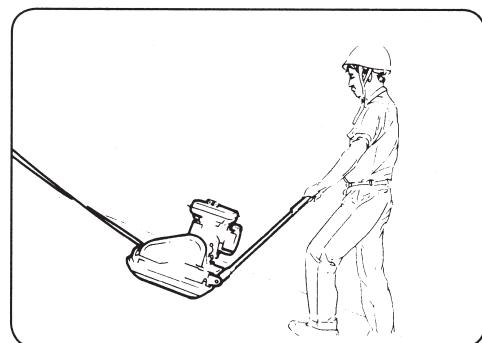
- (2) 機体は振動しながら前進します。
- (3) 本機の速度が遅くなったときは、転圧板の底面に土などが付着していないか確認し、付着していたら取り除いてください。



〔重要〕

- エンジンを中速で回しますと、遠心クラッチが「入・切」を繰り返し、焼付きの原因となりますので、エンジンを中速で回さないでください。
- コンクリート板上など、硬い場所では振動をかけないでください。守らない場合は故障の原因になります。
- 運転中は、ハンドルから手を離さないでください。手を離すと進行方向が変わります。
- 本機から離れる場合は、必ずエンジンを停止してください。

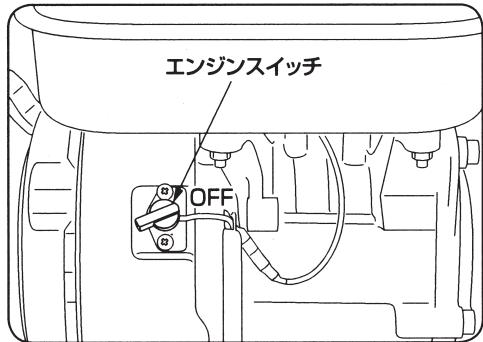
[補足]：急な斜面で作業を行うときは、本機をロープで引っ張るなどの補助を加えると作業が効率的に行えます。



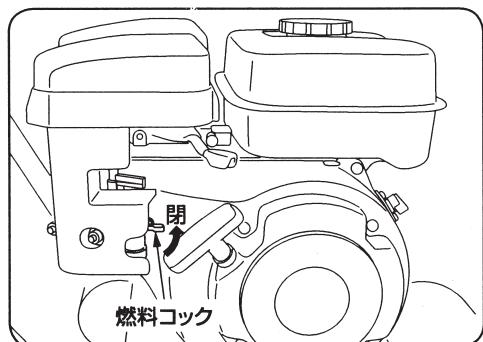
7. 停止

7. 停止

- (1) スピードコントロールレバーを「低速」側いっぱいまで戻し、1~2分間運転し、エンジンを冷やします。
- (2) エンジンスイッチを「OFF」の位置にします。



- (3) 燃料コックを「閉」の位置にします。



〔重要〕

- エンジンを高速運転後に急停止するとエンジンの温度が急激に高くなり、オイルが劣化したり運動部品が固着するなどの不具合が生じます。

8. 点検・整備

8.1. エンジン

エンジンについては、別冊の「エンジン取扱説明書」をお読みください。

(エンジン回転数セット : $3,800 \pm 100\text{min}^{-1}$)

8.2. 本機

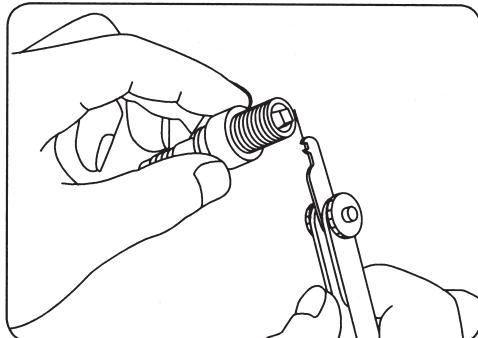
本機についたホコリ、汚れ、油などはきれいに拭きとり、異常がないか点検します。また、ボルトやナットのゆるみがないか点検してください。

8.3. 点火プラグ

点火プラグを取り外し、堆積カーボンを取り除いて、電極間の隙間を $0.6 \sim 0.7\text{mm}$ に調整します。

推奨点火プラグ

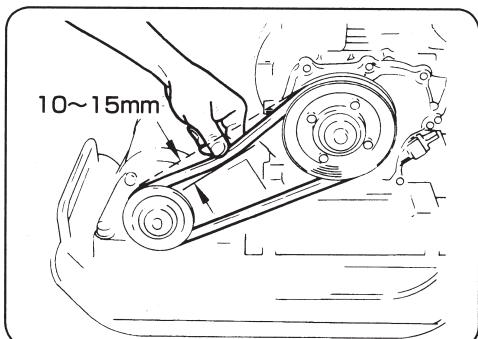
NGK 3R6HS



8.4. Vベルト

Vベルトの張り具合を点検します。両軸の中間を親指で押してみて、ベルトのたわみが $10 \sim 15\text{mm}$ 程度になるように調整します。

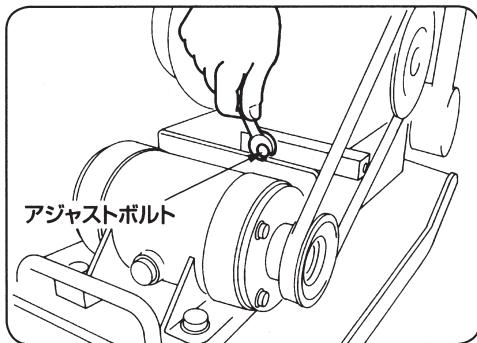
※たわみの多い場合は、新品のVベルト (RPF3340) と交換してください。



8. 点検・整備

調整方法

- ① エンジンを取付けている4本のボルトを少しゆるめます。
- ② エンジンの取付け位置をアジャストボルトで調整し、ベルトの張りを適正にし、ベルトの位置が一直線上になるようにします。
- ③ ゆるめたボルトを締付けます。



〔重要〕

- 調整が悪いと、ベルトの寿命が極端に短くなりますので、注意して調整してください。

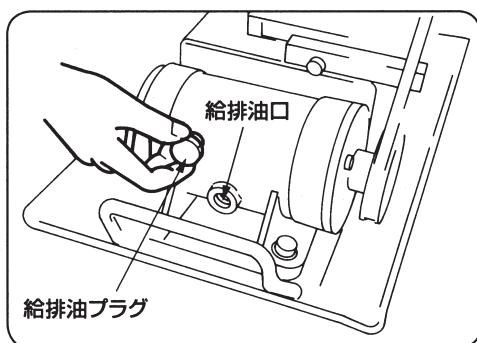
8.5. 起振体

オイルの量および油漏れがないか点検します。

オイルの量が不足している場合は、エンジンオイル（10W-30）を補給してください。

給排油プラグを外し、給排油口の口元いっぱいまで入れてください。

規定量：300cc



オイルの交換方法

排油プラグ、給排油プラグ、またはオイルレベルゲージを外し、機体を傾けてオイルを排出し、新しいオイルと交換してください。

オイル交換終了後、機体に付着したオイルはきれいに拭き取ってください。

オイル交換は、1カ月または200時間毎に行ってください。

8.6. 各部ボルトのゆるみ

各部の取付けボルトにゆるみがないか、特にエンジン、ベルトカバー、防振ゴム、コントロールハンドルの周りを重点的に点検してください。

9. 燃料・オイル

9.1. 燃 料

使用燃料：自動車用レギュラーガソリン

9.2. エンジンオイル・起振体オイル

氣 候	氣 温	※使用オイル(SD級以上)
夏	25°C以上	SAE#30
春・秋	25°C～10°C	SAE#30 または #20
冬	10°C～-10°C	SAE#20
通年	気温に関係なく	SAE 10W-30

10. 運搬の方法

▲ 注意

- 運搬車両への積込み、積降ろしは、本機を落とさないように二人で行ってください。
- 長距離や悪路を運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、気化器、燃料ストレーナの燃料を抜いてから運搬してください。

本機を運搬する場合は、次のことに注意してください。

- (1) 燃料タンクのキャップが外れないように、確実に固定してください。
- (2) 燃料コックを閉じてください。
- (3) 運搬中に機体が動かないよう、ロープなどでしっかりと固定してください。

11. 長期保存の仕方

- (1) 燃料タンク、キャブレターの燃料をすべて抜き取り、燃料コックを閉じます。
- (2) リコイルスタータの始動ノブを引き、重くなった所で止めます。
- (3) エンジンおよび起振体に油漏れがないか点検します。
- (4) 防振ゴムに油が付着していたらきれいに拭き取ります。
- (5) ゆるんだボルトおよびナット類は締めします。
- (6) 機体にビニールなどのカバーをかぶせ、ホコリ、湿気の少ないところに保管します。

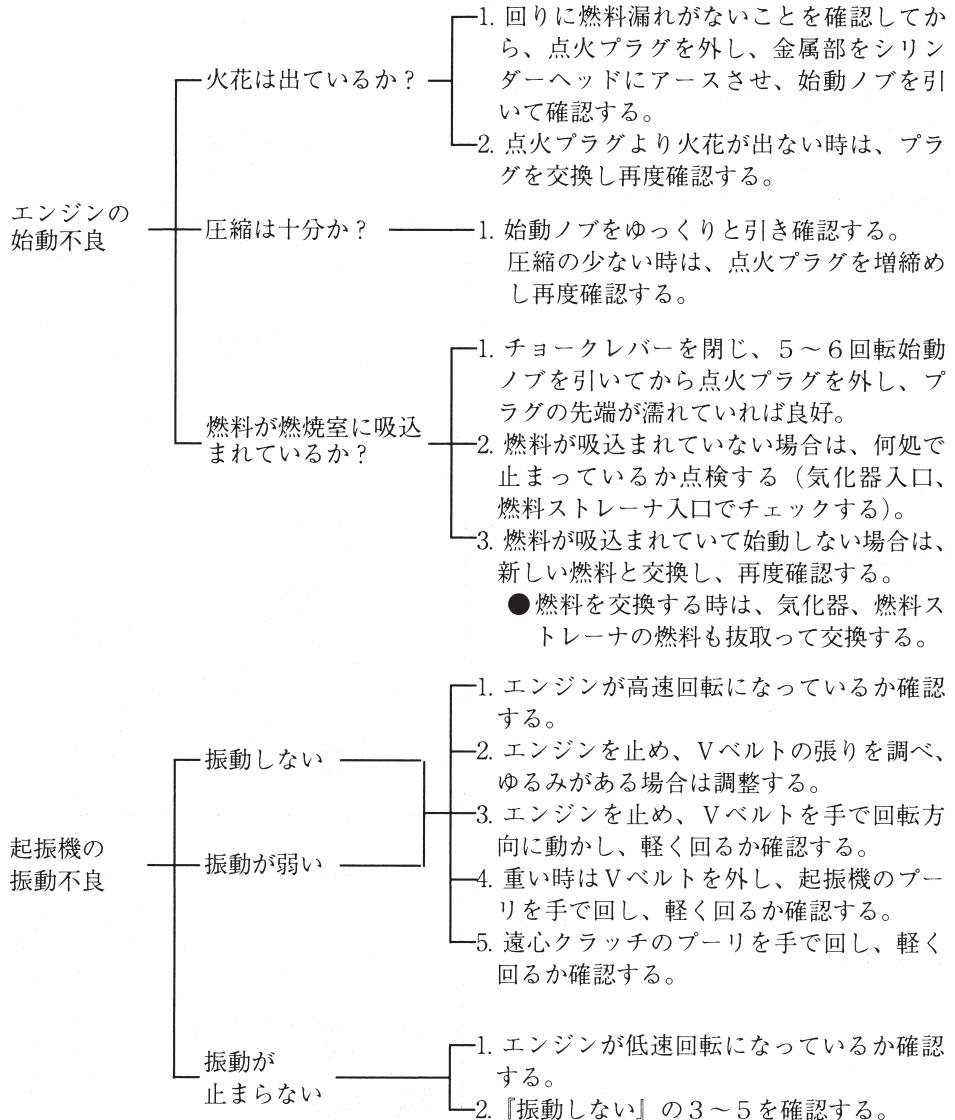
12. 定期点検表

12. 定期点検表

点 檢 項 目	毎日	毎週 (50 時間)	毎月 (200 時間)	500 時間	1,000 時間
各部の清掃および締付点検	●				
エンジンオイルの点検・補給	● 規定最大量まで補給				
エンジンオイルの交換	● (初回 20 時間)				
点火プラグの清掃	●				
エアクリーナの清掃	●				
燃料ストレーナの清掃		●			
点火プラグの隙間清掃と調整		●			
シリンダーへッドのカーボン除去			●		
気化器清掃			●		
吸排気弁点検すり合わせ			●		
エンジンオーバーホール				●	●
起振機オイルの漏れ	●				
起振機オイルの点検・補給		●			
起振機オイルの交換			●		
Vベルトの張り点検・調整	●				
各部の清掃・締付点検	●				

13. 故障診断

本機ご使用中に不具合が生じた時は、次の箇所を点検して修理してください。



修理・部品のサービスは、お買い求めの販売店かまたは巻末に掲載の、最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

14. 特別付属品（別売品）のご紹介

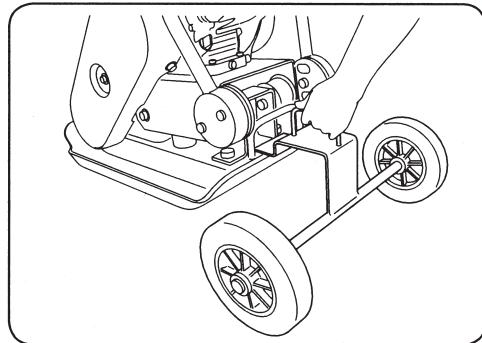
14. 特別付属品（別売品）のご紹介

マキタエンジンプレートには、運搬車輪が取り付けられます。

運搬車輪の取付け

- ① 機体を安定した場所に置き、ハンドルの中央部を手で押さえ、ストッパーに当たるまで前に倒します。

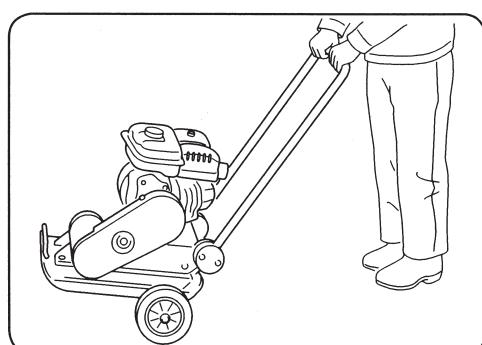
運搬車輪のプレート部を振動板のフック部に差し込みます。



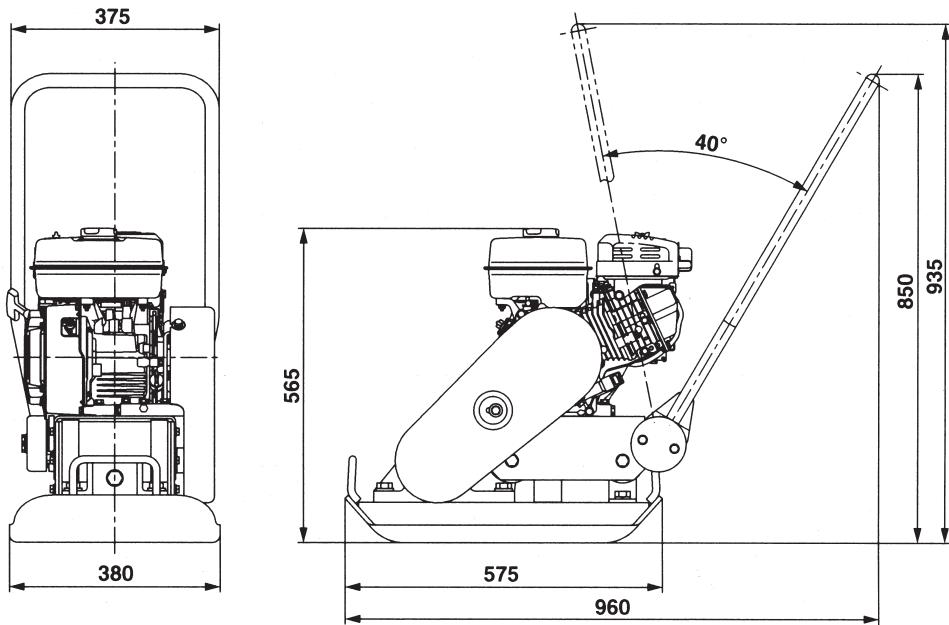
- ② 運搬車輪のフック部を片足で押し付けながら、本体ハンドルをさらに前方へ倒していくと車輪が振動板の下に入ります。



- ③ ハンドルをしっかりと持ち、車輪と本体がバランスする位置まで後方に倒した後、運搬します。



15. 全体図



16. 仕様

16. 仕様

型 式		EP71
機 械 質 量* ¹		73 kg
寸 法	全 長	960 mm
	全 幅	380 mm
	全 高	850 mm
振動板(長さ × 幅)		575 mm × 380 mm
性 能	振 動 数	96.7 Hz (5,800 vpm)
	速 度	21 ~ 25 m/min
	起 振 力	12.7 kN (1,300 kgf)
締 固 め 幅		380 mm
工 ン ジ ン	名 称	ロビン EX17D
	型 式	空冷 4 サイクル傾斜単気筒
	総 排 気 量	0.183L (183 cc)
	出 力* ¹	4.2 kW/4,000 min ⁻¹ (5.7 PS/4,000 rpm)
	燃 料	自動車用無鉛ガソリン
	燃 料 タンク 容 量	3.6 L
	クランクケース油 量	0.6 L
始 動 方 法		リコイルスタータ式
起 振 体	起 振 方 式	一軸偏心式
	起 振 ク ラ ッ チ	遠心クラッチ
	伝 達 方 式	Vベルト
	起 振 体 油 量	0.3 L

〈注〉 単位は、国際単位系による SI 単位表示です。 () 内は、従来の単位表示を併記したものです。

* 1. 質量表示の条件：タンク容量の 1/2 の燃料質量を含み、散水用水の質量は含まない。

* 2. エンジンの出力表示：エンジンメーカー カタログによる最大出力を表示しています。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(985) 7115	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(985) 7115	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈079〉(281) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(867) 6411
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(867) 6411
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(85) 4751	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(777) 4801	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈048〉(976) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈059〉(351) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0476〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 ☎446-8502

TEL.0566-98-1711(代表)